

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所りんりん		
○保護者評価実施期間	R7 年 12 月 1 日 ～ R7 年 12 月 12 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	R7 年 12 月 1 日 ～ R7 年 12 月 12 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8 年 1 月 8 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日頃からこどもの状況を保護者に伝えあい、共通理解に努めている。	・その日の様子をお迎え時に口頭でお伝えしている。 ・園送迎をしている利用児にはラインを活用してりんりんでの様子を報告している。 ・何かあればその都度情報共有している。	・今後も変わらず継続し、共通理解を図っていく。
2	・SNSやお便りを活用し、日頃の活動内容や行事、お知らせ等定期的に発信している。	・職員間で業務を役割分担している。 ・りんりんの療育内容の特色を発信している。	・今後も変わらず継続し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報、緊急連絡を保護者に対して発信していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動支援や兄弟同士の交流の機会がもてなかった。	・今年度は水害の為、開催が難しかった。	・今後、親子で参加できる行事を定期的に開催し、きょうだい児の参加も促していく。
2	・各種マニュアルや避難訓練の実施等が保護者に周知・説明されていない。	・マニュアルは策定し、避難訓練も定期的に実施しているが保護者への周知や説明が足りなかった。	・各種マニュアルはご利用時に説明し、いつでも閲覧できるようお伝えする。 ・避難訓練は防災週間を作り、全利用児が参加できる体制を作る。
3			